

は、本当に助かります。また、駅などのエレベーターやスロープなどで幅の広い二人乗りのベビーカーでは利用できないことがあります。今進めている狭山市駅西口の開発では、そういう面も考慮していた、だくといいいのですが。

福山 学校の統廃合などの話を耳にしますが、情報が少ないような気がします。現在、通学している子の親はいいのですが、小学校や中学校への入学を控えた家庭には情報が少ないので、学校の開放日に気軽に見に行つていいか迷っている親も多いと思います。この人たちに情報を提供してほしいと思います。また、狭山市では、地域の見守り活動が盛んに行われていて、皆さんにとっても感謝しています。

子育ての安心や高齢者の孤立を防ぐことに、とても役立っていると思います。これからも、ぜひ続けていってほしいですね。

横尾 私の子は、まだ小さくて、やりたい放題で、いつも大変なんですけどね。公園などの遊具は大丈夫なかな。うちは、幼稚園に行かせるつもりやから、市の方からそのあたりの、いろんな情報を出してほしいんです。アナログ人間なので、パソコンを持っていないやけど、持つてる人と持つてない人とは、情報量が違うと思うん

よ。子どもが小さいと、パソコンや携帯電話を見ている暇もないし。酒井夫) 市のホームページやモバイルサイトは、情報量が多くて素晴らしいのですが、情報は取りにくいもので、見に行かなければ分かりません。乳幼児情報センターのワイワイメールなど、発信型の情報の提供が必要だと思います。

市長 小学校の情報は幼稚園や保育園に、中学校は小学校に情報を流すようにしていますし、市ではメール配信サービス充実させているので、かなりの情報を提供していると思つてはいましたが、皆さんのお話を聴いて、改めて情報発信の大切さと難しさを強く感じました。情報の発信方法や内容をさらに工夫していきたいと思つています。

## 一人で悩まず人に頼ることも必要 まず一歩を踏み出すことが大切

市長 それでは、どうしたら子育てしやすいまちになるか、皆さんのご意見をお聴かせください。

ただいているのは実感できません。逆に市長にお聴きしたいのですが、お孫さんが6人いらつしやるということですが、おじいちゃんという立場で、お孫さんたちに残したいものなどありますか。

酒井妻) 狭山市には、自然が多く、安心して遊べる施設が多いと思います。市内には川があるのに、子どもが水遊びできる場所が少ないですね。奥富に、せせらぎ公園があります。水が汚くて遊ばせられませんでした。また、民間でも有料でもよいのですが、土・日曜日に子どもを遊ばせられる室内施設がもう少しあればいいですね。

市長 まず、豊かな自然や歴史的なものを大切に、このまちに育つてよかつたというようなまちを次世代に残したいですね。そこには、子育てだけでなく、教育の要素をプラスしていくことが必要だと思います。そのためには、まず、家族の絆を大切にして、親と子の接



点をもっとつなぎ、深めてほしいと思つています。

酒井夫) 私は妻の親と一緒に生活しています。周りから見ると抵抗があります。周りから見ると、妻は自分の親だから頼みやすいし、子育ての

横尾 美幸さん



狭山在住・子育てサークル ポップキッズ 代表・1歳7か月の男児の母

酒井 誠悟さん・曜子さん



つつじ野在住・「ティンクル キッズ」のメンバー・1歳9か月の男・女児双子の両親  
URL <http://www.geocities.jp/twinklesayama/>

協力やアドバイスをもらえたりして、助かっていきます。市長のおっしゃった「家族の絆を大切に」、その言葉を日々感じていきます。

市長 これから子育てする方へのメッセージがあるとしたらどんなことですか。

横尾 大阪から狭山に来て、初めは外との接点がなく孤立してました。そんなとき、広報さやまを見て、「児童館があるんやー、でも行っても友だちおらんし」と、どうしようと思つてたんやけど。それでも勇気を出して行ってみたら、保育士さんも優しく、友だちもたくさんできたよ。そこから初めの一歩が大切だと思うねん。そういうことを伝えてほしいし、伝えたい！

福山 今は、子育て情報紙などで、子育て中のお母さんなどにアドバイスをしていきますが、10年前は何を質問していいかも分かりませんでしたし、自分の子どものか見えませんでした。子育てはゼロからスタートするものです。横尾さんのいうように、初めの一歩が大切だと私も思います。子育ての楽しさを共有できたり、悩みや相談できる環境を身近に作ることに必要だと思えます。今になってやっと、少しずつ分かってきたよくな気がします。

酒井(妻) 体調不良もあって動けなくて、ほかの人とも触れ合えず、育児ノイローゼになりかかったとき、保育士さんなど、いろいろな人に支えてもらいました。他人から

**子育てをもっと楽しもう  
楽しさを実感できるまちに**

井上 子育てのことを知らない人は、本当に知らないものです。子育ては大変だけど、もっと楽しんでほしいし、楽しむしかないと思います。すぐに子どもは成長し、親離れして、あのころは大変だったけど楽しかったね、と思えるものです。

酒井(夫) 同感です。子育てはこんなに大変なのよ」と言われてしまつと引いてしまつかもしれないですが、でもやってみたら楽しいものです。大変だけど、それ以上に楽しいということをもっと伝えられないかと思えます。

市長 いろいろなおアドバイスやメッセージをいただき、ありがとうございます。

時代とともに子育てを取り巻く環境は変化してきましたが、子どもの健やかな成長を願う親の気持ちには変わるものではありません。家族、地域の絆と愛に包まれた子

援助を受けることは、少し罪悪感を伴うけど、頼ってほしいんだ」という気持ちを持つてほしいと思います。勇気を持って頼つてくださーいと言いたいですね。

育てが、何よりも必要だと考えています。酒井さんがおっしゃるように子育てに男性・夫が積極的にかかわることは必要ですね。

これからの狭山を担っていく子ども達は市の宝です。そういう意味からも子育て支援は、市の重要な施策だと考えています。そのため、厳しい財政状況ですが、さまざまな子育て支援策を展開していきたいと考えています。お金を使うだけではなく、「ボランティアで地域の見守り活動をする皆さん」、「それらの活動に感謝する気持ち」、そのことが、私の持論「元氣な狭山をみんなで作る」ということにつながっていきます。それぞれの人が、さまざまなことに感動を覚える社会にしていきましょう。

皆さん、本日はお忙しいところ、大変ありがとうございました。

問合せ広報課へ内線7162